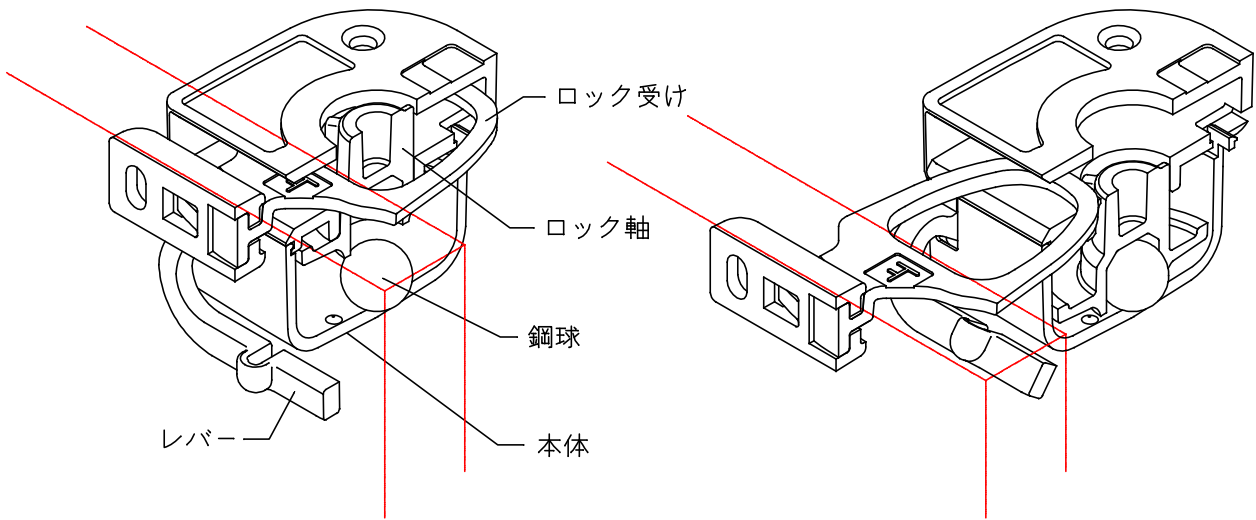


## 1. 通常の扉開閉状態

扉閉状態 ↔ 扉開状態

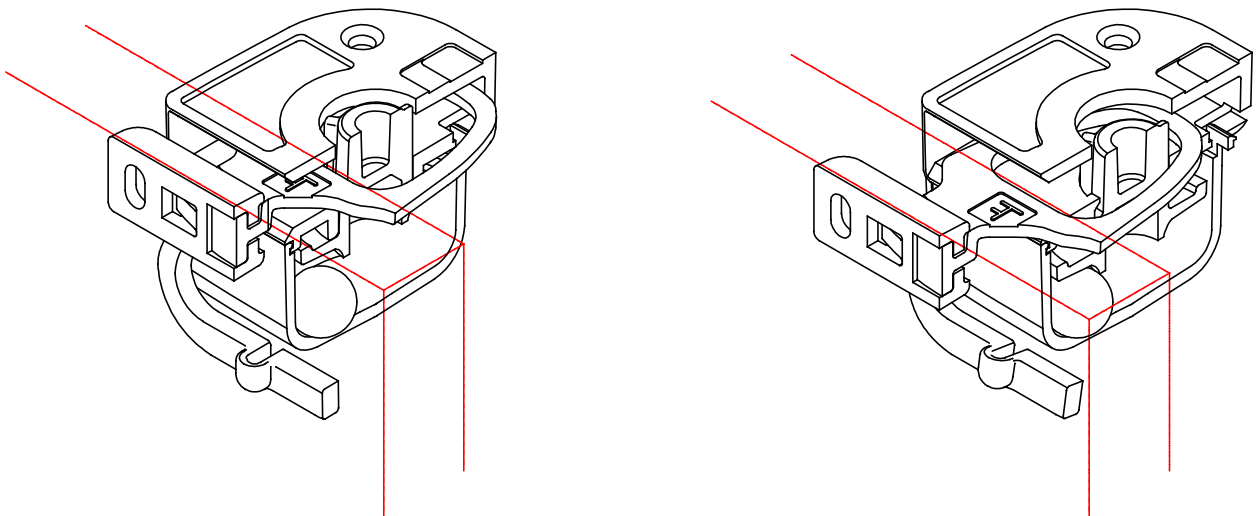


扉閉時、ロック軸は常にレバーにより押し上げられており、鋼球は本体の中心位置で静止しています。

扉開時、レバーによって押し上げられているロック軸は、自重で下がります。このとき鋼球は本体の中心位置にあるので、ロック軸のくぼみに収まりロック軸は完全に下がります。ロック受けはフリーの状態になるので扉は開きます。

## 2. 地震感知状態

扉閉状態 ↔ 扉開状態



地震を感知すると鋼球が転動して中心位置から外れるので、ロック軸が下がることができなくなり扉の開放がロックされます。